

白さびについて

2022年6月10日 管理番号：SS1-2206101 製品分類：スチール製グレーチング

第一機材株式会社

Q. 溶融亜鉛めっき表面に、白墨の粉のようなものが付着していますが問題ないか

A. **白さびが発生しても発環境から解放されると次第に消滅し、通常の溶融亜鉛めっきと同じ外観となります。**

・白さびについて（一般社団法人 日本溶融亜鉛鍍金協会 HP より引用）

白さびとは、白色または白色に一部淡褐色の斑点を伴う、かさばった亜鉛酸化物が亜鉛めっき表面に形成された状態で、外観は白墨の粉が付着している感じです。

<発生原因>

「白さび」の発生には必ず水分と酸素が必要です。水分は雨水や海水飛沫のこともあり、結露の場合も多く見られます。「白さび」は、めっき面の一部が乾燥し一部が濡れている状態で、その境界線が長時間移動しないときに、境界線に隣接し濡れている側のめっき表面上に発生する場合に多くみられます。更に、乾湿の境界線が長時間かけて移動する場合、「白さび」の発生部は大きな面積をもつようになります。尚、水中に長い間浸せきされた状態では白さびは発生しません。

<保管方法>

溶融亜鉛めっき製品は、下記に示す内容に留意して保管すると、比較的「白さび」の発生を減少させることができます。

- ①通風の良い屋内に保管する。
- ②屋外保管の場合は、水はけの良い場所で地面と隙間を開け通風をよくする。
- ③部分的に雨溜りをつくらぬよう工夫しておく。
- ④屋外保管の場合、雨天時はめっき製品に直接シートが接触しないようにして完全に覆い、晴天になったら速やかにシートを外す。



[JIS H 8641 (2007)] 溶融亜鉛めっき（抜粋）

6. めっきの品質 めっきの品質は、次による。

6.1 外観 めっきの外観は、受渡当事者間の協定による用途に対して使用上支障のある不めっきなどがあってはならない。また、めっき表面に現れる耐食性にはほとんど影響のない、濃淡のくすみ（やけど）及び湿気によるしみ（白さびなど）によって合否を判定してはならない

備考 めっきの主目的は、耐食性にあり、美観的要求事項を満足させることではない。また、装飾の目的で施されるものでもない。めっきは表面素材を滑らかにすると考えがちであるが、素材表面より良くはないのが普通である。